



自治基本条例「町民講演会」 8/6

平成21年度から、制定に向けて取り組みを進めている新ひだか町自治基本条例（仮称）について、町民にも広く知ってもらおうと『町民講演会』が町公民館で行われ、約150名の方が参加しました。

行政や地方自治論などを専門とする北海学園大学の佐藤克廣教授が、条例の意義について講演。自治の充実を図るには「日常的に町政運営に関心を持つ必要がある」など、町民意識や行政の変化の必要性を話しました。



新ひだか町善行表彰 7/26

今年6月に所有する農地を町道用地として寄付されました漆原節男さん（静内神森）に、善行表彰を贈りました。

この土地は、静内第三中学校に近い住宅地沿いにあり、中学生が通う近道として利用されており、漆原さんは「町道として整備されて、子どもたちが安全に通学できるようになり良かった」と話し、酒井町長は「地域で活用できるよう、寄付していただき本当にありがたい」と感謝を述べました。



白寿祝状授与 7/20

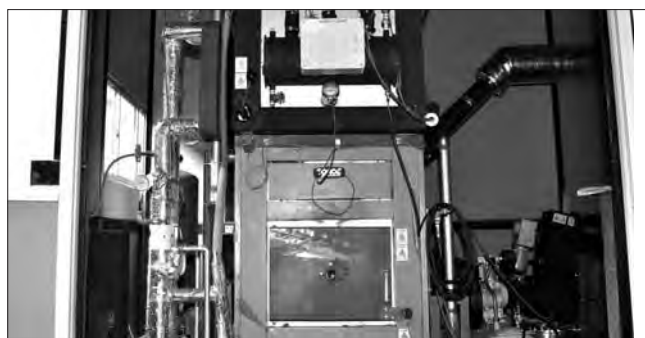
五十嵐ミサヲさんが白寿を迎え、札幌市の病院に入院中の本人に代わり、長女の加賀谷晴美さんが、富田副町長から祝状、蚊野好美町社会福祉協議会会長から記念品を受け取りました。

ミサヲさんは長沼町出身で、結婚後に新ひだか町静内地区で生活。男女4人の子どものを育て、孫5人とひ孫2人に恵まれました。

加賀谷さんは「本人も喜ぶと思います」と話し、すぐに札幌の病院に向かい、白寿を祝いました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



新エネルギー実証実験開始 8/10

町に適した新エネルギーを探るための実証実験として、木質チップボイラーを静内温泉に、太陽熱システムを静内温水プールに設置しました。

これは、総務省から委託を受けた緑の分権改革推進事業の一環で、4か月間にわたってデータを集めた後に分析し、報告書にまとめるもので、町でも燃料使用量等のデータ収集を始めました。

町担当者は「新エネルギーのデータを集めることはもちろん、町民の関心も高めたい」と話しました。



剣道少年団洲本市派遣 8/1~3

新ひだか町姉妹都市交流事業の一環として、兵庫県洲本市で行われた剣道交流会に剣道スポーツ少年団である静内剣心の団員ら13名が参加しました。

大会では、女子小学生の部で土井唯華さん（山手小5年）が3位、河原茉莉乃さん（山手小5年）が見事優勝に輝きました。また、花火大会や海水浴などで交流をし、子どもたちは「淡路の方々がたくさん交流でき、楽しい思い出ができました」と話しました。



民謡をたずねて公開録音 7/23

新ひだか町誕生5年を記念して、NHKラジオ番組『民謡をたずねて』の公開録音が、町公民館で行われ、410名の町民らが会場に詰め掛けました。

公開録音には、鎌田英一さんら6名の著名な民謡歌手を迎え、18曲の演目を披露。迫力ある民謡の歌声に加え、三味線や尺八の音色、はやし詞などに会場では大きな拍手があがりました。

今回、録音した番組は9月18日、25日、10月2日にNHKラジオ第1などで放送される予定です。



ウトウラ カネ Utura kane(共に歩む) 7/18

アイヌ文化の伝承及び町民の理解を深めることを目的に、社団法人北海道アイヌ協会新ひだか支部（大川勝支部長）などによる『Utura kane』が静内真歌のチセで行われました。

道アイヌ協会新ひだか支部の大川勝支部長は「町民の皆さんと共に歩み、将来にわたってこの貴重なアイヌ文化を残したい」とあいさつ。参加した約40名の町民はトンコリやムックリの音色、アイヌ古式舞踊などを通して、アイヌ文化に触れていました。



七夕宵まつり 8/7

町観光協会による『七夕宵まつり』が行われ、参加した子どもや親子づれなどは、町内に飾り付けられた七夕飾りに、願い事かなうよう、思いを込めて短冊を付けていました。



パークゴルフ大会 8/3

町老人クラブ連合会三石支部によるパークゴルフ大会が蓬萊山公園パークゴルフ場で行われ、会員はパークゴルフを通して交流を深めていました。



ジュニア アドベンチャー 8/1~2

日高中部青年会議所によるジュニアアドベンチャーが日高青少年自然の家で行われ、参加した子どもたちは、さまざまなイベントや野外での焼肉などを楽しんでいました。



道中体連出場生徒激励会 7/21

平成22年度北海道中学校体育大会出場生徒激励会が町公民館で行われ、町内から出場する90名の生徒たちは、全国大会出場を目指して健闘を誓いました。